

# 職人不足見越しSDPC工場新設続く

## サイディングプレカット協会

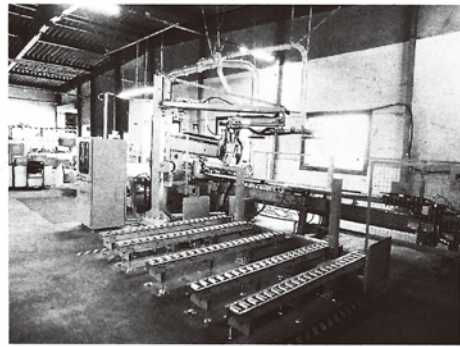
### 協業体制も広がる可能性

サイディングプレカット協会加盟企業で国内で新たに稼働したサイディングプレカット工場は、直近で5工場・6社に上ったことが、同協会の調べで分かった。なかには採寸と工場加工を分業した事例もあり、今後、各社の得意分野で協業することが増えていく可能性がある。

サイディングプレカット(SDPC)は工場であらかじめカットして現場に持ち込むため、現場加工で発生する粉塵や騒音、廃材処分などを回避できるメリットがある。職人不足が進行して

いるなかで将来的な施工力不足を補うため、大手住宅メーカーなどが積極的に採用する動きもある。この1年半の主な動きとしては、2021年9月から稼働したり

松戸工場は埼玉、千葉、東京を商圏に事業を開始。富国物産(長野市)さいたま支店さいたま工場も同9月から稼働した。22年3月からは村上木材(大阪府)工場と住協(同)が協業して近畿地区向けで事業を開始しており、R-one(浜松市)高丘西工場は同9月から静岡や愛知東部向けで始動した。最近では23年2月からカネトヨ(宮崎市)宮崎工場も県南部



R-oneのSDPC工場

測データを村上木材加工で役割分担していく体制が増えていくことも考えられる。なお、同協会によると、近年、SDPC事業で大型案件となったのが千葉市内で施工中の老人ホー

向げに始動している。このうち、村上木材と住協は各社の得意分野を持ち寄ってSDPC事業を行っている。住協が現場採寸し、計測データを村上木材加工で役割分担していく体制が増えていくことも考えられる。

工場へ送り、同工場で加工後、住協が現場施工を実施する。単独事業より生産効率が高まると見られており、今後、こういった分業で役割分担していく体制が増えていくことも考えられる。なお、同協会によると、近年、SDPC事業で大型案件となったのが千葉市内で施工中の老人ホー

ム。外壁施工面積は1900平方メートル規模で、エアコン・換気扇等の貫通部(穴加工)が多かったことで、SDPC能力を十分に発揮して効率的な納材を実現したという。